

研究課題名

消化器外科術後合併症に対する理学療法の有用性の検討

研究責任者の氏名

不破 由希子

共同研究者の氏名

荒川 優也

研究の目的及び方法

消化器外科術後患者さんのリハビリテーションは、肺葉症候群や呼吸器合併症などの合併症予防に有用とされていますが、リハビリ開始時期や運動量がどの程度関与しているのかについては十分に解明されていません。今回、私たちは、今後のリハビリテーション実施の参考とするため、これまでのリハビリテーション実施データのうち消化器外科手術を受けた患者さんの術後の歩行開始日、術後 1~7 日目の歩行距離の違いが術後合併症に影響あるのかについて分析を行います。

対象期間

2021 年 3 月~2021 年 12 月の 9 か月間に当院消化器外科の手術を受けられた患者さんのうち、歩行不能な方および医師がリハビリテーションの指示をしなかった患者さんを除く方。

研究に関する記録

収集したデータは当院の HDD に保存する。これらのデータからは個人を特定することはできない。研究結果の報告から 3 年経過後にこれらのでータ を削除する。

利用する情報項目

性別、年齢、術後の歩行開始日、術後 1~7 日目の歩行距離、リハビリ記録、血液検査データ

利用するものの範囲

リハビリテーション技術室 不破 由希子、荒川 優也

連絡先

松波総合病院 リハビリテーション技術室 不破 由希子

TEL : 058-388-0111

FAX : 058-388-4711